



第357号 平成20年4月1日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2階

TEL (075) 256-0351

FAX (075) 241-3568

発行人 長村吉朗

## 学校医会総会にあたって

会長 長村吉朗

まずはじめに、皆様方がこの一年間京都市学校医会に対し温かいご支援とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。それと同時に、本年度も6名の経験ある学校医の先生方が75歳の定年を迎えられ勇退されますことは誠に残念でなりません。これまでの長年のご苦勞に心より感謝申し上げます。学校医会を離れられましても私どもにご指導の程宜しくお願いいたします。本当に有り難う御座いました。

まず初めに総会の報告ですが、本年は会長選出の年でしたが、今後2年間の会長として私長村が指名を受けました。皆様方におしかりを受けまいよう頑張るつもりでおりますので、宜しく願い申し上げます。

さて学校医会のこの一年ですが、なんとと言っても昨年9月に執り行いました京都市学校医会創立100周年記念式典に触れないわけには参りません。昨年9月22日に京都ホテルオークラにおきまして、記念式典・講演会・祝賀会を開催することができました。多くの会員、OB会員と招待者併せて260名ものご参加をいただき、盛大に執り行うことが出来ました。多くの先生方は記念式典にもご出席いただいておりますので、多くは申し上げませんが成功裏に式典を終えることが出来たと思っております。本当に有り難うございました。又この記念式典に先立つ9月7日には、学校医会の事務局が置かれておりますこどもみらい館前の公園の一角に記念像を設置し除幕式を執り行いました。その像もわずかな間に周囲にとけ込み、スケッチをされているところを見かけることもありました。学校医会にとっての記念だけでなく、京都の町並みにとけ込むモニュメントとなると考えております。

次に、昨年総会では福持常任理事の補充を報告いたしましたが、本年より右京の井本雅美先生と左

京の大久保秀夫先生に常任理事となつていただきました。お忙しいことは存じますが、井本先生、大久保先生には今後学校医会に新しい活力と熱意をもたらしていただけるものと期待しています。

また学校医会の活動面では、一昨年11月より動き出しました心の相談室・ワンポイント相談です。月に1回2組の制限はありますが学校における心の問題の重要性より見てその活動のさらなる充実に努めて行かなくてはなりません。

次に、遅きに失したとおしかりを受けるかとは存じますが、HIV・エイズ教育に対する取り組みを行いました。小泉内閣の発足後、性教育パッケージとも言うべき状態の中でエイズ教育も後退とはもうしませんが、少なくとも前進といえるような積極的な取り組みがなされてきませんでした。この一年間教育委員会との話し合いと共に、エイズ関連の講演会を積極的に行つて参りました。

また、近年の少子化による児童数の減少が今後も続くことが予想されておりますが、それと同時にいじめや心の問題などへの積極的な取り組みや、健康診断時のプライバシーの確保など学校医に期待されている内容も変化してきております。これらに対応するため、教育委員会と協議し、複数校医の配置基準をこれまでより緩和し昨年度は5校、本年度には2校の複数校医を配置する学校を増やすことが出来ました。又期限付きではありますが、新しく統合された学校への学校医の複数配置につきましても、教育委員会と一定の合意を得たものと思っております。新しい学校医には専門領域の違いや女性医師の配置など、複数校医制を活用した新任校医の推薦を依頼しており、今後の複数校医による相互補完的また相乗効果的な活躍に期待しております。

また、2年前より京都府医師会指定学校医制度が

実施され、多くの先生方は積極的に更新単位の取得をされており、中には既に3単位の更新に必要な単位を取得されてしまった先生もおられます。2月末には、その時点で0、1単位の取得にとどまっている先生方に、年度末に多く開催されます単位取得が可能な講演会等の案内を行いました。さらに4月の校医ニュースをお届けする際に、3月末での研修単位の取得状況をお一人お一人に確認していただくよう準備を進めております。今後は、会員にとって必要な内容の研修会を、さらに企画していきたいと考えています。

次に、本年度の活動方針ですが、心の相談室・ワンポイント相談の順調な運営です。平位副会長のご努力により実現したこの心の問題に関する取り組みをその対象者の枠組みを拡大変更し相談者のニーズ

により合うものとしていきたいと考えております。今後悩みを抱える子供たち、保護者、また学校関係者にとって、なくてはならない存在として認識して戴けるようにしていきたいと考えています。

また、子供たちへのHIV感染の危険性が急速に高まってきています。これに対して昨年行いました集中的な講演会の開催だけで終わるのではなく、今後もHIV感染の危険性をいろいろな機会を捉えて訴えていくと共に、学校医の持つ医学的な知識を学校における健康教育の場で生かしていきたいと考えています。

100周年を超え新しく次の歩みを歩き出しました京都市学校医会を、次の200年に導くために、今後も努力していくつもりをしておりますのでよろしくご支援お願い申し上げます。



## 「ごあいさつ」

京都市教育委員会  
教育長 高桑三男

京都市学校医会の会員の皆様、去る3月1日付で教育長を拝命致しました高桑三男でございます。

先生方におかれましては、平素から子どもたちの健康の保持増進並びに本市教育の充実・発展に多大な御支援・御協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、学校医会におかれましては、昨年9月に伊吹文明文部科学大臣(当時)、池坊保子副大臣をはじめ、多くの御来賓の御出席の下、創立100周年記念式典並びに祝賀会を盛大に開催されました。また、12月には大変重厚な100周年記念誌を発刊されました。私も拝見させていただきましたが、先人達が脈々と築いてこられた100年の歴史の重みを感じるとともに、各時代の学校医の活動や子どもたちの健康に対する真摯で熱い思いが伝わってくる素晴らしい記念誌であり、後世に受け継がれていく財産であります。

近年の社会環境や生活様式の急激な変化は、次代を担う子どもたちのストレスの増加や生活習慣病の低年齢化など、心身の健康に深刻な影響を及ぼすとともに、いじめ問題や性の逸脱行動並びに薬物乱用、更には携帯電話等を利用した犯罪等に繋がる大きな社会問題の要因となっています。本市においては平成19年2月、学校医会の皆様をはじめ、幅広い市民

の皆様の御参画の下、「子どもを共に育む京都市民憲章」を策定し、これら今日的課題の解決に向けた取組を学校・家庭・地域・企業・行政が一体となって展開しております。

子どもたち一人ひとりが、生涯にわたって健康で充実した生活を送るためには、自らの健康に関する課題を発見し、解決できる能力や態度を身につけることが必要であり、そうした日々の取組は、健康の問題に留まらず「未来を拓く生きる力」を育むうえで大変重要であります。

学校医会では、平成16年度に就任された長村吉朗会長を中心に、執行部の皆様が連携を深められ、定期健康診断の充実、さらには、子どもたちの心の問題に着目したLD等の相談事業を先導して立ち上げられるなど、充実した取組を展開していただいております。改めまして御礼申し上げます。

今後とも、学校医会の先生方との連携の下、子どもたちの健康の保持増進を図り、充実した学校生活を送れるよう取組を推進して参りますので一層のお力添えをよろしく願い申し上げます。

最後に、長村吉朗会長をはじめ、京都市学校医会の今後ますますの御発展と会員の皆様の御健勝と御活躍を祈念申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

## ワンポイント相談室の事例検討会の開催

精神衛生研 平 位 喜七郎

精神衛生研究班が中心となって平成18年10月に立ち上げたワンポイント相談室は、市教委の協力により順調に経過し早くも1年半になります。この間19例の事例にも恵まれ、着実に実績を重ねています。内科医、小児科医が中心の学校医が児童・生徒の心の問題や軽度発達障害の相談に応じられるのかという危惧もありましたが、まずはチャレンジ精神で聞き役とアドバイザー、紹介役の立場に徹して取り組んでいます。

平成20年3月6日その事例検討会を京都ホテルで

村松児童精神科医に出席して頂いて14名の参加者で行ないました。アスペルガーの疑いの児童をテーマに色々な意見やアドバイスで盛況裏に終了しました。この成果を本年5月に広島で開催される指定都市学校保健協議会の紙上提言で発表することになっていきます。

ワンポイント相談室にご関心のある先生がたは、是非精神衛生研にご参加ください。又、7月3日に村松児童精神科医の学習障害に関する講演を予定しています。

---

---

## 平成20年度新任校医研修会

専務理事 林 鐘 声

3月27日、対象者の16名のうち14名の市立学校医と1名の府立学校医に対して、学校医会の理事による下記のテーマでの新任校医研修会を開催しました。

- (1)：京都市学校医会の組織とその内容—長村会長
- (2)：学校医の職務に関する法律的側面—奥村副会長
- (3)：学校医の職務とその内容—平位副会長
- (4)：学校医の職務の実際—林専務理事

以下、各々について聴きながら考えたことを記しておきます。

(1)：京都市学校医会は京都府医師会とは独立した組織であるが、それは政治的な主義主張が異なるためではないとするくんだり、この組織が積み上げてきた歴史の重さを想起させるものであり、今後も独自性をもった仕事をしていくことを暗に示していたと思います。

また、2009年に更新となる京都府医師会指定学校医制度については、普通に校医活動をしておれば自ずと更新できる単位設定となっていることと、府立の学校医は自己申請する必要があるのに対し学校医会は会員に代ってまとめて更新申請することを示し、会員に安心を与える説明となっていました。単位として認定されている学校保健委員会への出席を教育委員会から学校医会に遺漏なく通知される密接な連携のあることで可能となっていることも判って頂いたものと思います。

(2)：学校保健法、学校保健施行令、学校保健施行規則によって職務が決められていることを、学校医の手引き（社団法人京都府医師会 平成19年3月発行）3～22頁迄の勘所を押さえて概説して頂きました。年度始めの学校保健安全計画の立案に参加すること、職員の健康診断に従事することが明記されていまして、一度ならず目を通していても記憶に残っていませんでした。後者については、平成5年より京都市では健康管理医の制度として発展させており、教職員の健康相談は学校医活動の1つの柱としてあることを再確認させて頂きました。他に学校伝染病と出席停止期間については、Be Wellの“学校と伝染病”を用いて説明して頂きました。

(3)：健康診断から健康教育、心の問題などにより重点的な取り組みが望まれる状況にあり、学校医の役割がこれまでと変化していることを中心とした話—100周年記念誌の165～195頁に詳しくあります—とともに、心の相談事業のワンポイント相談室の相談員となることの呼びかけがありました。また、手引きの(6)頁、表6の「養護教諭からみた学校医の理想像」—新しい医学知識を吸収している人、特権意識のない人、弱者の気持ちのわかる人など—おなじみのものを紹介して頂きました。この講師を務めて4回目、そのたびに我が身を振り返る言葉に接してきたことになります。養護教諭やこども達と接する

上で、心しておくべきポイントは多いと思いました。

(4)：詳細は手引きの23～99頁。実際的なことで最も強調したのは、プライバシーの保護、健診時の服装、事後措置の取り扱いなどについて健診前に養護教諭と十分に話し合い、意思疎通を図っておくということです。僅かな手間をかけることで、無用のトラブル防止になるばかりか、より協調した仕事が可能となります。学習指導要領に基づいて実施される教育を支障なく受けられる健康状態にあるかを判断する定期健康診断は、京都市では5月31日迄に終了させるものと規定されています。年1回の定期健康

診断を点としてとどめることなく、線の起点として、いつでも健康相談に応じられるようこども達の健康状態を把握しておくことが求められています。そのためには、心臓検診、結核検診、検尿事業などでの要精検者の事後措置の結果の確認、定期健診以降で発見された病気について目配りしておくべきと説明しておきました。

これ以外にも盛り沢山でした。なかなか実行し難いのも実際のところではありますが、学校や保健教育活動になじむには校医が学校に出向くことにあると思います。

## 第11回 常任理事会

平成20年4月5日  
於 事務局

**出席者** 長村会長、奥村・平位副会長、林専務理事、井上・藤田・竹内・福持各常任理事、佐野眼科学校医会副会長、星谷耳鼻咽喉科学校医会理事

### ・会長挨拶

### <報告事項>

1. ワンポイント相談事例検討会 3/6  
今月号参照
2. 創立100周年記念事業報告会 3/9  
17人の参加
3. MRワクチン接種について市教委と話し合い  
3/10 3月末に報告済
4. 精神衛生研究会 3/13 8人の参加
5. 平成20年京都市学校医会・小児科医感染症講演会  
3/15 107人の参加 “小児HIV感染症”
6. 腎臓相談 3/18 蛋白尿1人

7. 京都小児科医会学術講演会 3/22  
“夜尿症の治療”
8. 色覚相談 3/25 市内1人 府内1人
9. 新任校医研修会 3/27 今月号参照
10. その他

### <協議事項>

1. 平成19年度決算報告及び平成20年度予算案について
2. 平成20年度学校保健会役員選出について  
会長交代（薬剤師会→学校医会）
3. 第59回指定都市学校保健会協議会について  
広島市 長村、平位、奥村、林、福持の参加
4. 会員名簿広告について
5. その他 会則改訂の検討

### <関連学会・各種協議>

1. 精神衛生研究会 4/10
2. 全理事会 4/10
3. 学校薬剤師会懇親会 4/12
4. 眼科学校医会総会 4/12
5. 京都市学校医会総会 4/19
6. 第1回常任理事会 5/10 2:00 pm～

## 京都府医師会指定学校医制度 単位取得講演会・研修会等

5月18日(日)	第59回指定都市学校保健協議会	広島市
6月14日(土)	第8回京都『こどもの心とからだ』教育講演会	京都リサーチパーク4号館 地階バスホール
7月3日(木)	学習障害に関する講演会	こどもみらい館4階 第2研修室